

# 横田空域(その1)

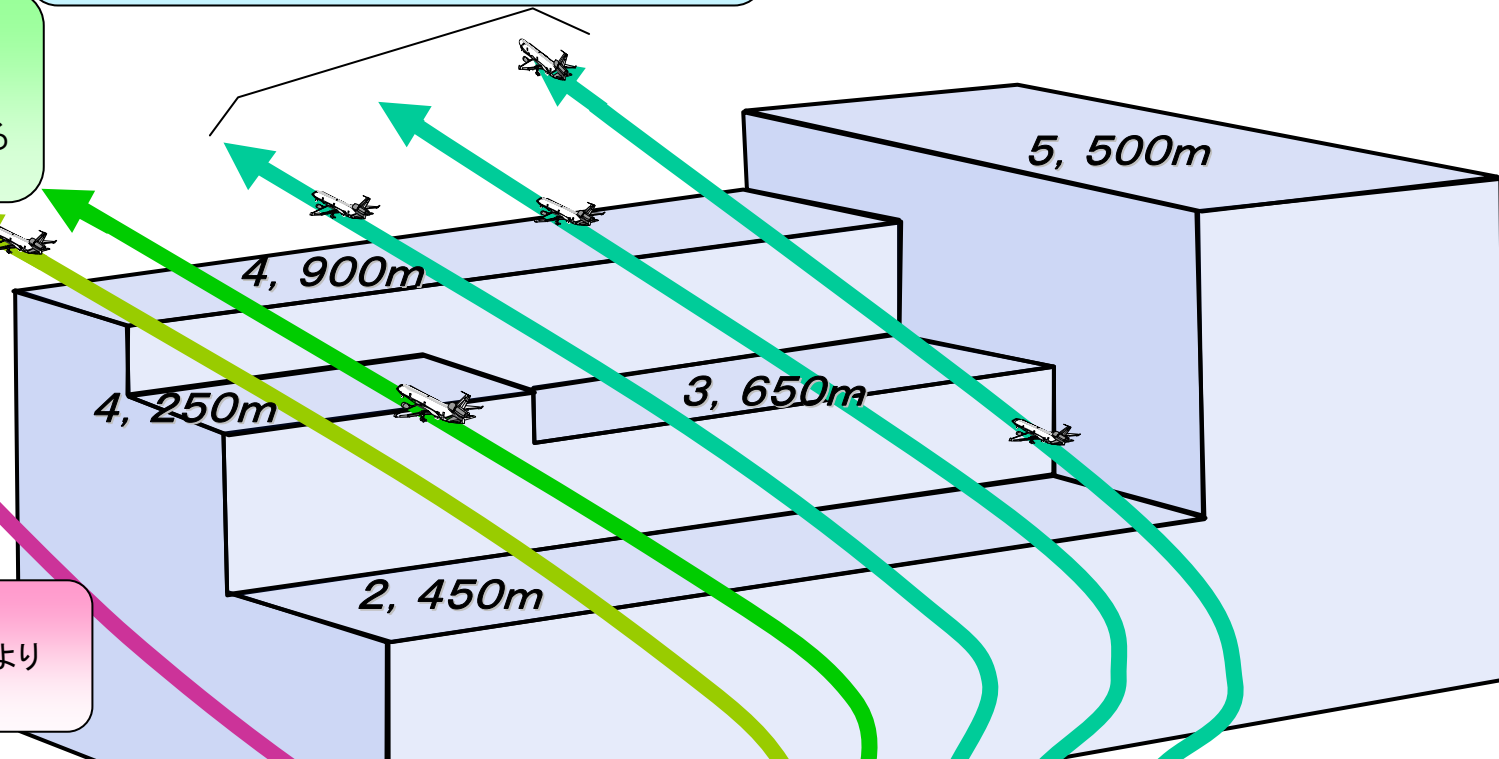
削減後

中国・北部九州方面 (270便/日)  
➢ 経路の複線化  
➢ 横田空域の東端通過高度を13,000フィートから9,000フィートに変更

関西方面 (70便/日)  
➢ 継続的上昇により効率的な運航となるルート

南部九州・沖縄方面 (100便/日)  
➢ 横田空域の東端通過高度を15,000フィートから9,000フィートに変更

到着経路  
➢ 出発機の効率的運航により経路短縮効果が期待



- ・ 2006年10月27日 日米合同委員会で横田空域の一部削減及び横田ラプコンへの自衛隊管制官の併置に関し合意
- ・ 2007年5月18日 横田ラプコンへの航空自衛隊管制官併置の開始
- ・ 2008年9月25日 横田空域の一部削減を実施 (羽田空港再拡張供用開始予定 2010年10月)
- ・ 横田空域の全面返還に関する条件の検討 2009年度完了

# 横田空域(その2)

削減前

関西方面  
(50便/日)

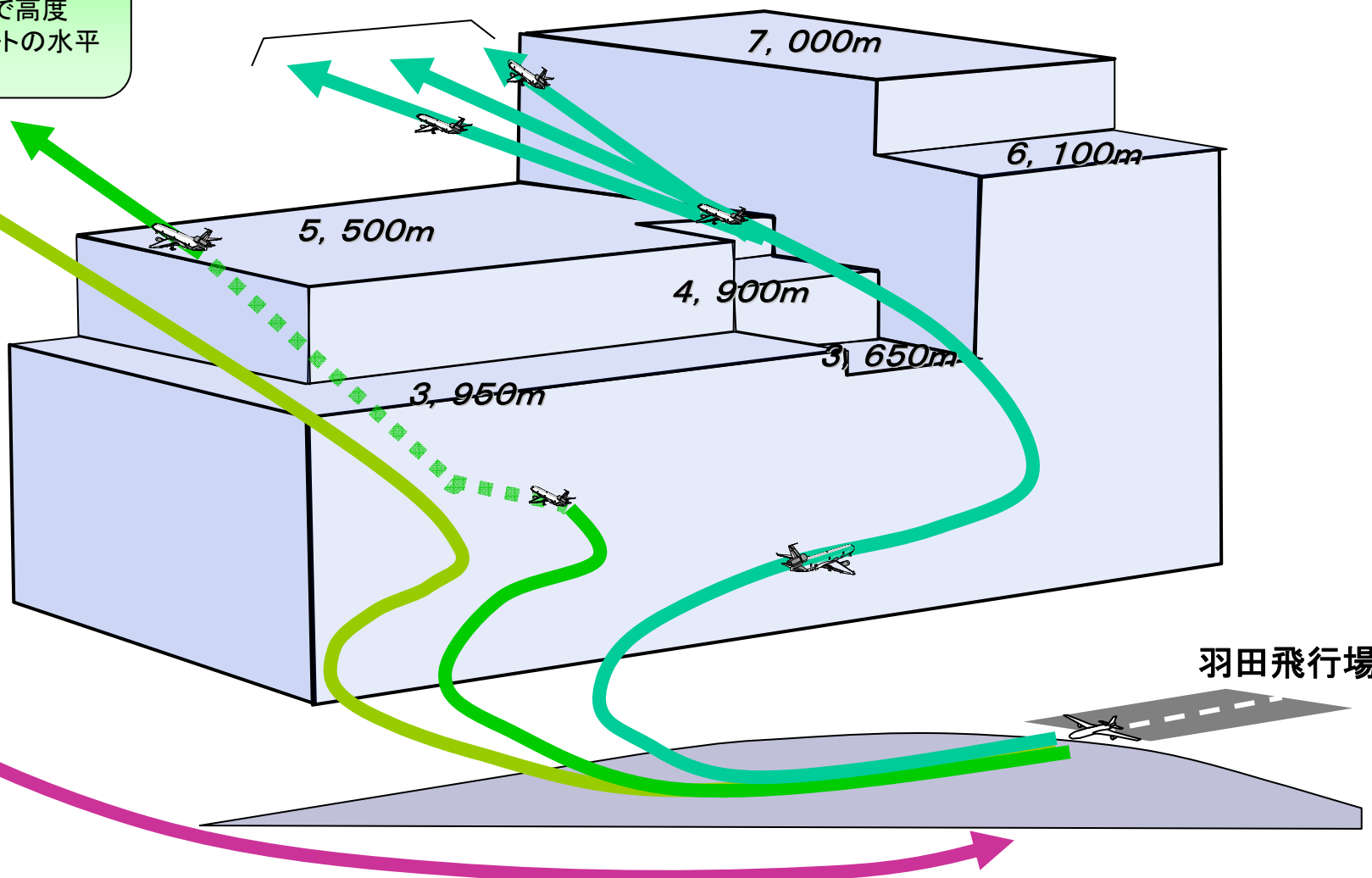
- 横須賀周辺で高度10,000フィートの水平飛行が必要

中国・北部九州方面  
(190便/日)

- 横田空域の東端通過高度13,000フィート

南部九州・沖縄方面  
(70便/日)

- 横田空域の東端通過高度15,000フィート



到着経路

- 出発機の上昇するエリアを避けて進入

羽田飛行場